

「教師は5つの者であれ」



■胎内支部 支部長 中条中学校 校長 丹後 直子 (S62年度)

この言葉は、私が新採用校の校長から頂いた教えです。「学者」「医者」「易者」「役者」「芸者」。この「5つの者」は教育者に求められる役割や資質を具体的かつ簡潔に示して

おり、これまでの私の教職人生を支えてくれました。

令和4年10月、中教審「令和の日本型学校教育を担う教師の在り方特別部会」中間まとめが公表されました。この中の「求められる教員の資質」を簡単にまとめると、次のようなものです。

- ①教育者としての使命感と教育的愛情
- ②教科等に関する専門的知識と実践的指導力
- ③地球的視野に立って行動するための資質能力
- ④変化の時代を生きる社会人に求められる資質能力
- ⑤教職に対する愛着と自己成長への意欲

予測困難な時代と言われる現代、個別最適な学びと協働的な学びの実現やICT・教育DXの利活用、複雑化する生徒指導上の諸問題への対応、インクルーシブ教育の推進、教員の働き方改革の問題等、学校教育を取り巻く課題は山積しています。しかし、時代が変わっても教師に求められる資質は不易ではないかと感じます。使命感をもち生涯学び続ける『学者』、子どもに寄り添い健やかな心身の成長を促す『医者』、未来を予測し子どもたちや自分自身のキャリア形成を図る『易者』、子どもを理解し状況を見極めながらよりよい学びを創る『役者』、専門性を高め一芸を極める『芸者』。これら「5つの者」であることを自覚することで私たちは、この難局に立ち向かう教師としての誇りと勇気を持ち続けることができると信じています。